

丹沢 白石沢✓

## 雷木沢

メンバー:三井、白土、早川

遡行日:12年4月15日

最近、ネットで丹沢の沢ガイド集などに載っていない面白そうな沢を幾つか見つけた。今回の「雷木沢」もその一つで滝がかなり多いようで興味を惹く。会の「沢オープニング」に組み込んで貰い、入渓の運びとなる。

丹沢湖畔にオープニング山行に参加の各パーティーが集まり、河崎君の挨拶のあとそれぞれの入渓点に向う。用木沢のゲート前に車を留め、林道を歩いて行くと間もなく赤い橋(山びこ橋)に出る。

ここでいきなりのチョンボ。橋の手前の右手の小沢が「雷木沢」なのだがうっかり橋を渡ってそのままモロクボ沢を進んでしまった。間違いに気づき慌てて戻り仕切り直し。

小さな堰堤を二つ越えるとナメ床になっていてその先に二段15mの滝(F1)。中間部がスラブの滑り台状になっている。微妙な傾斜だが残置もあり取り付いてみたいが、今日は幾分水量も多いようで下段の落ち口でかなり濡れそうな感じだ。

この時期、正直まだ濡れたくはないし、オープニングで余り無理もしたくはない気もしてしばし見上げていたが、メンバーからも直登の声があがらないので左岸から巻く。

続いて二段17mの滝。水流左端のコーナーがルートになりそうだがやはり水

量が多いのでここもパス。

ナメ状の沢を少し進むと大滝と出合う。某記録では30mと称されているがそこまではなさそう。だが中々立派な滝である事は確か。

一応ルートを探ってみるが上部の立ったスラブが困難だろう。どのパーティーもここは巻いているようで、両岸とも巻けるがここは右岸から巻く。

ネット情報通りの滝が次々現れ面白い。メンバーも得心の表情。

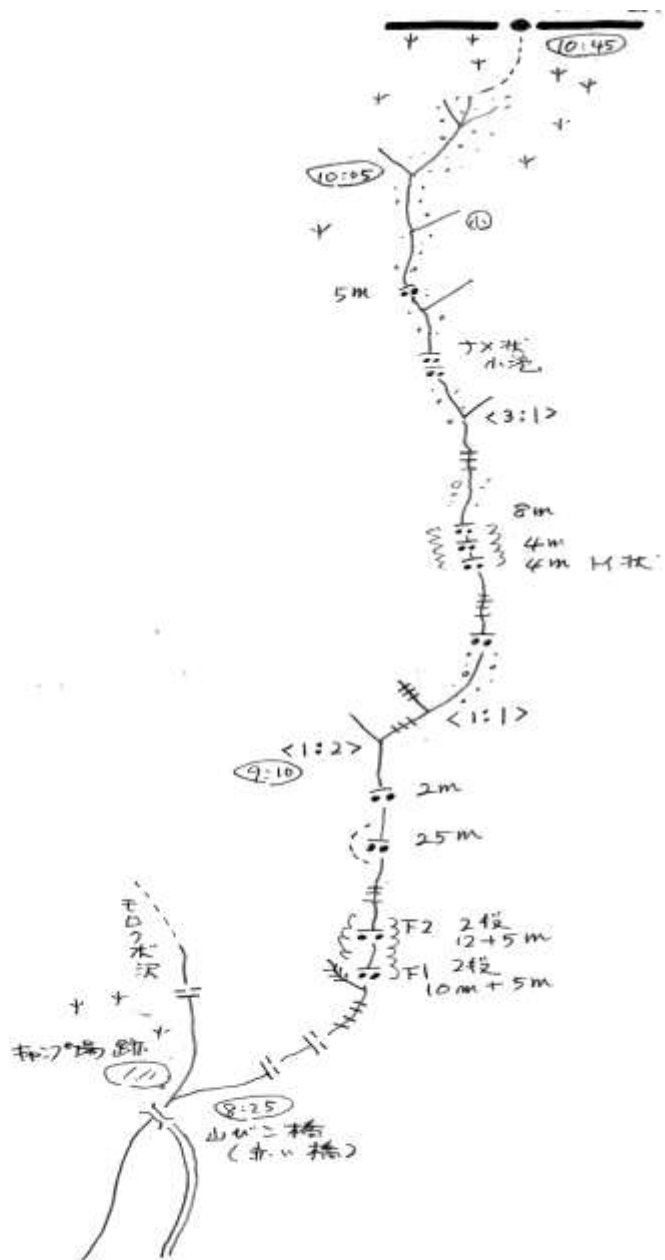
二俣となり、それを右にとると直ぐ先にまた二俣。快調に遡っていくと取り付きがトイ状の連瀑帯となる。

楽しみつつ通過。そこを過ぎると沢は急にゴーロっぽくなっていきこの先何もなさそうな感じもして「まさかもう終わりでは…?」

5mの滝を越えると水も涸れ、殆ど源頭の感じ。元々直線距離で2キロほどの小沢、こんなもんだろう、とは思うが物足りなさは拭いようもない。尾根に取り付き一登りすると水晶沢の頭にて終了。

下山は雷木沢の右岸尾根を下る。尾根にはかなりしっかりした踏み跡がついていて迷いようもなくスタスタと下って行き、丁度1時間ばかりで車まで戻り山行を終える。

雷木沢はそこそこ滝の数はあるが如何せん短い。ただ、大滝以外は登れると思うので、濡れを気にしなくていい時期に来て登れば充実感は得られるだろう。



12年4月15日  
 河原 白石川・雷木沢